

土づくりのポイント

今回の分析結果から、土づくりで特に確認したいポイントをまとめました。



おおむね良好

大きな過不足はありません。



低pHの改善

pHが低い傾向にあります。
石灰が不足し、かつ塩基飽和度も低い場合は、
石灰などの施用量を増やすことをご検討ください。



高pHの改善

pHが高い傾向にあります。
石灰が過剰に含まれている場合が多く、
その場合は石灰の施用量を減らすことをご検討ください。



高ECに注意

ECが高い傾向にあります。
塩類や硝酸性窒素、硫酸イオンの集積が考えられます。



塩基の蓄積に注意

石灰・苦土・加里が多い傾向にあります。
それらの施用量を減らすことをご検討ください。



塩基の補給

石灰・苦土・加里が少ない傾向にあります。
塩基飽和度が低い場合は、
それらの施用量を増やすことをご検討ください。



塩基バランスの改善

石灰・苦土・加里のバランスが崩れている傾向にあります。
不足している塩基を補うなど、バランスを整える工夫が必要です。



リン酸の蓄積に注意

リン酸が多い傾向にあります。
リン酸の施用量を減らすことをご検討ください。



その他

上記に当てはまらない土壌です。

CECの推定方法について

【CEC推定値の算出式】CEC推定値 = $(3.5 \times (\text{石灰} + \text{苦土} + \text{加里})) \div (\text{pH} + (\text{EC} \div 2) - 3.5)$

CECの推定値は、①pH、②EC(単位=mS/cm)、③交換性石灰(単位=meq/100g、以下同じ)、④交換性苦土、⑤交換性加里をもとに算出しています。この推定方法は、旧 神奈川県園芸試験場(現 神奈川県農業技術センター)により開発された手法であり、CECを直接測定せずに推定することが可能です。CECの測定には一般的に時間と手間を要しますが、本手法では日常分析で得られる項目から迅速にCECおよび塩基飽和度を算出できるという利点があります。

ただし、本値はあくまでも推定値であり、土壌の種類や性質によっては実測値と差が生じる場合があります。そのため、参考値として活用するとともに、必要に応じて実測による確認を行うことが望まれます。

なお、本方法は低pH土壌では推定精度が低下するため、当社ではpH5.0未満の土壌については、CEC推定値を算出しておりません。